

(1)事業の概要等

事業番号	B1500-1
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青年の家管理運営事業					担当部			こども未来部		
	事業期間	平成22年度	～	令和7年度以降			担当課			こども政策課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	15	展開方向		担当係			青少年育成係		
	予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	4	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市青年の家の設置及び管理に関する条例					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	市民が利用しやすいよう施設整備の管理運営を行う。 また、青少年が仲間づくりを通じて、友愛の精神を育んだり、ボランティア活動に目を向けるようになることを目指す。										
	対象 (何・誰を対象に)	市民、青少年及び青年の家利用団体										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>青年の家は建物の状況から耐震性には大きな問題はないが、築60年近くを経過しており、老朽化が進んでいる。史跡小牧山の敷地内にあり、原則建替えはできないため、計画的に維持修繕を行う必要がある。</p> <p>青年対象講座、親子対象講座、青少年育成事業等の支援としてのジュニアセミナーを開催する。</p> <p>新たな利用者獲得のため、毎年新しいプログラムを企画し提供しているが、応募が少ない状況が続いている。青年の家運営委員会での意見を活かした講座開催や事業展開を図る。</p> <p>【令和4年度決算】 13,903千円(一般財源 13,626千円、その他 277千円) 委託料 13,898千円 負担金 5千円</p> <p>【令和5年度当初予算】 21,529千円(一般財源 21,304千円、その他 225千円) 旅費 2千円 役務費 9千円 委託料 21,243千円 備品購入費 250千円 負担金 5千円 還付金 20千円</p>										
受益者負担	有	講座受講に必要な教材費分										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
			直接経費	財源	千円	21,791	19,915
	一般財源	千円	21,791	19,915	19,025	13,626	
	国・県支出金	千円	—	—	—	—	
	その他	千円	393	105	145	277	
	計(A)	千円	22,184	20,020	19,170	13,903	
	対前年比	%	—	90.2%	95.7%	72.5%	
	予算額	千円	22,349	21,644	22,012	17,297	21,529
人件費	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	正規職員(平均賃金)	千円	749	749	749	749	
	その他職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0	
	計(B)	千円	749	749	749	749	
	事業費合計(C=A+B)	千円	22,933	20,769	19,919	14,652	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		15	展開方向		
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標	利用人数	人	目標		21,054	21,054	21,054	21,054
実績					17,842	8,794	8,631	12,118	
講座参加人数		人	目標		168	168	168	168	168
			実績		154	110	121	119	
単 位 あ た り 事 業 費	受益者数(a)		人		17,842	8,794	8,631	12,118	
	受益者あたり事業費 (=C/a)		円		1,285	2,361	2,307	1,209	

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言などもあり、閉館する時期があり、利用人数が少なくなった。 令和4年度は閉館することはなかったが、宿泊定員を半分にするなど一部制限もしたこともあり、コロナ禍以前ほど利用人数は伸びなかった。 講座参加人数についても、コロナ禍による定員制限などもあり、以前ほど参加人数が伸びていない。 施設の利便性が高くなく、利用者や講座参加者の応募が少ない状況が続いている。</p>					
今後の実施内容	<p>青年の家運営委員会での意見を活かした講座開催や事業展開を図る。 施設の老朽化が進んでいるため、計画的な維持修繕により長寿命化を図る一方で、青少年教育に関する施設のあり方を含め、施設の移転又は廃止などについて検討する。<R5.3月改訂 小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針> 少子化対策や若年層に対する経済的支援の一環として、青年の家の和室(宿泊)の「中学生以下」料金を見直し、「小人」料金を設定する。</p>						
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	